

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

聴覚障害者が医療機関を受診する際、遠隔で手話通訳を受けられるサービスを岡山市が始めました。記事を読んで質問に答えましょう。

## 聴覚障害者 病院受診時 遠隔手話通訳サービス 岡山市、端末貸し出し

新型コロナウイルス感染症防止の一環で、岡山市は今月から、聴覚障害者が医療機関を受診する際、タブレット端末を使って遠隔手話通訳を受けられるサービスを始めました。昨年7月から当事者が感染の疑いがある場合に限定して展開していたが、対象を広げ利便性を高める。

通常、聴覚障害者の通院時には同市に登録する手話通訳者が同行するが、遠隔による対応で感染リスクを避ける。端末のテレビ

22日は同市内の60代女性が岡山済生会外来センター病院（同市北区伊福町）での受診に合わせた利用した。医師が「この前受けた胃カメラの結果は経過観察でよいそうです」と話すと、女性は端末に映し出される通訳者の手話を見ながらうなずいていた。

約20分の診察を終え、女性は「先生の話が理解できるか心配もあったが、肩こりの悩みも相談できた。他の人にも勧めたい」と満足そうだった。

県障害福祉課によると、県内の他の自治体でも医療機関の受診に合わせた遠隔手話通訳の導入準備が進められているという。

（大橋孝平）



タブレット端末に映し出される手話通訳を見ながら、医師（右）から診断結果を聞く女性＝岡山済生会外来センター病院

24日付、山陽新聞全県版。記事の形を変えました

Q1 ★★★★★

聴覚障害者が医療機関を受診する際、遠隔で手話通訳を受けられるサービスが始まった理由を、第1、2段落に注目して答えましょう。

Q2 ★★★★★

遠隔での手話通訳は、どのようにして行われますか。第2段落と写真を参考に説明しましょう。

Q3 ★★★★★

タブレット端末などデジタル機器を活用して、医療や福祉のサービスを受けやすくする方法が他にもないか考えてみましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。



テレビ会議アプリを使ってできることがいろいろありそうだね